

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	意見や要望を収集できる投稿箱等の設置をしていない。	玄関等へ投稿箱を設置し、気軽に意見や要望を伝える手段を増やす。	御家族や来客者へ周知し、意見や要望等をいただくことで、ホームの運営や利用者のケアへ活かす。	3か月
2	36	利用者が人生の先輩であるということを常に念頭に置き、その時々で丁寧な言葉づかいや方言を使い分けているが、職員間で多少の認識のずれがある。	全職員が自覚し、言葉づかいや対応について再度改め、利用者一人ひとりの人格を尊重する。	常に声をかけ合い、会議や申し送り等で話し合い、職員の対応や言葉づかいの均質化を図る。	3か月
3	47	認知症治療薬や安定剤等の使用における、治療効果の正しい評価ができていない。	薬剤投与後の経過や治療効果を検証する。	DBCチェックシートを活用し、主治医との連携により投与薬剤の適正化(投与薬剤の選択や投与量の調整)を図る。	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。